

2024 年度春学期・通年派遣 立命館アジア太平洋大学（APU） 国内交流プログラム募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（APU）は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

交流学生プログラムは、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）に半年あるいは1年間「特別聴講生（交流学生）」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です（秋学期派遣は半年のみ）。立命館アジア太平洋大学での勉学および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

I. プログラム概要

1. 本プログラムの目的

- （1）双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
- （2）双方の学生交流の促進

2. 期待される APU での学習効果

- （1）英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
- （2）国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
- （3）上記の能力向上により海外留学の準備

3. 派遣期間（延長不可）

- （1）春学期（2024年4月1日～2024年9月25日）
- （2）1年間（2024年4月1日～2025年3月31日）

4. 募集人数

- （1）春学期派遣 10名
- （2）1年間派遣 10名

5. 派遣先学部

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）

6. 派遣中の立命館大学での学籍状態

留学

7. APU での身分

特別聴講学生

8. 単位認定

単位取得した科目のみ以下の通り T 評価で認定します。（F 評価は認定しない）

- ・ 同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定（T）。
- ・ 同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、

専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（T）。ただし総合心理学部生は「APU 交流科目」での単位認定は不可。

- ・ 修得した単位は、2024 年度の修得単位として認定されます

9. 単位認定の上限

立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります。

派遣期間	APU での受講登録単位数の目安	立命館大学での認定上限単位数
春学期	所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数の半数	60 単位以内※
1 年間	所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数	

※単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで 60 単位以内です（編入学、転学等を除く）。特に、過去に海外留学を終えて単位を認定されたことのある方は注意してください。

10. 学費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。また、社会人学生授業料納入特例措置を受けている場合は、継続して特例措置を受けることができます。

11. 履修可能科目

アジア太平洋学部（APS）、国際経営学部（APM）いずれも 2017 年度カリキュラムの科目が履修可能です。一部履修制限があり、履修できない科目がありますので以下の表および【その他注意事項】をご確認ください。

【学部別の履修可否】

	APU 科目名	APS	APM
1	スタディスキル・アカデミックライティング	×	×
2	多文化協働ワークショップ	×	×
3	APS 入門	×	×
4	ピアリーダートレーニング入門	×	×
5	必修日本語	×	×
6	（中級）専修日本語	×	×
7	（上級）専修日本語	×	×
8	ST 必修英語（ST: Standard Track）	×	×
9	ST 専修英語	○	○
10	AT 必修英語（AT: Advance Track）	×	×
11	AT 専修英語	×	×
12	AP 言語科目	○	○
13	APS ブリッジプログラム	×	×
14	APM ブリッジプログラム	×	×
15	調査研究入門	○	×
16	基礎演習（環境・開発）	○	×
17	基礎演習（観光学）	○	×
18	基礎演習（国際関係）	○	×
19	基礎演習（文化・社会・メディア）	○	×
20	APM 必修科目（Capstone 以外）	○	○
21	グローバルマネジメント（Capstone）	×	×
22	専門演習 I / II（要事前申請）	○	○
23	卒業研究 I / II	×	×
24	卒業研究 / 卒業論文	×	×

【その他注意事項】

① 英語の言語クラス

スタンダードトラックの専修英語科目のみ受講可能。

② アジア太平洋言語（AP 言語）

中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の6言語を開講。定員に空きがある場合のみ、受講可能。

③ 当該学生の母語である言語科目

履修不可

④ 英語で開講される専門科目の受講

受講可

※TOEFL ITP®テスト 480 点相当以上の言語運用能力を想定して授業が行われる。

⑤ セッション科目（集中講義）

春学期派遣は夏セッションのみ、通年派遣は夏セッションと冬セッションを受講できる。

⑥ 演習科目

3 回生演習については学生の申請に基づき、担当教員が履修の可否を判断する。

履修に関する情報は、APU の以下のホームページで確認できます。

■ APU 履修関連ホームページ（「2017 カリキュラム」を選択してください）

<http://www.apu.ac.jp/academic/>

・ APS 科目一覧

https://www.apu.ac.jp/academic/aps/subject_list/

・ APM 科目一覧

https://www.apu.ac.jp/academic/apm/subject_list/

・ APS 3 回生ゼミ情報

<https://www.apu.ac.jp/academic/aps/seminar/>

・ APM 3 回生ゼミ情報

<https://www.apu.ac.jp/academic/apm/seminar/>

■ シラバス

各セメスターのシラバス公開は該当セメスター開始の約 1 か月前ですが、過年度のシラバスを参照できます。（シラバス閲覧にログインは不要です。右側のメニュー「講義から検索」から講義名称等を入力し、検索してください。）

<https://portal2.apu.ac.jp/campus/slbbsskgr.do>

以上の情報をもとに、各自、履修を希望する科目を検討してください。

12. 住居

立命館アジア太平洋大学の学生寮（APハウス3）を利用できます。寮費は下表の通りです。学生寮への入寮を希望する場合は、出願票の該当箇所にチェックを入れてください。派遣許可発表時に、入寮の可否を合わせて発表します。

また、寮費は派遣開始前に一括で納入（振込）していただきます。

【APハウス3について】

オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで10分、亀川商店街まで約5分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。APハウス3の設備等、各情報に関しては、以下の学生・オフィス・オフィスのウェブサイトを確認してください。部屋の間取り図や写真も確認できます。

<https://www.apu.ac.jp/studentssupport/aphouse/house3/info/>

〒874-0013 別府市古市町 25 組

最寄りバス停：関ノ江海水浴場前 徒歩 5 分

※電気使用量（7,000円程度/月）は別途、実費を支払う必要があります。

入寮日の前日までに九州電力と入寮者が直接契約をすることになります。

手続きの詳細は内定者ガイダンスで説明します。

【入寮期間】

- ・春学期留学の入寮期間：2024年3月下旬～2024年7月末日の4ヶ月間
- ・1年間留学の入寮期間：2024年3月下旬～2025年2月中旬の10.5ヶ月間

【寮費】

	APハウス3 寮費
月額	¥43,000 (住居費¥31,000、共益費¥3,000、水光熱費¥7,000、寝具レンタル料¥2,000)
入寮費	¥33,000
合計	春学期留学の場合…¥205,000 (¥43,000×4ヶ月+入寮費¥33,000) 1年間留学の場合…¥484,500 (¥43,000×10.5ヶ月+入寮費¥33,000)
備考	電気使用量は別途実費

※入寮期間を超過して退寮する場合、1ヶ月分の寮費が必要となります。又、入寮期間満了前に退寮する場合、寮費は返金しません。注意してください。

※上記金額は改定されることがあります。

13. 奨学金

「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」（以下、チャレンジ奨学金）

この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。本プログラム派遣者のうちチャレンジ奨学金に申請した方に奨学金支給を予定しています。

(1) 支給額等について

2024年度春学期・通年派遣者の支給額・支給時期・支給方法は以下のとおりで予定しています。詳細は本奨学金の募集案内にてご案内します。

支給額	現地渡航の場合 ・1セメスター派遣：15万円 ・通年派遣：20万円 ※オンライン派遣へ変更となった場合は改めてご案内します。
支給時期	2024年6月下旬以降に振込予定（現地渡航確認後に支給）
支給方法	本人名義の銀行口座へ振込

(2) 受給にあたっての注意点

- ① 学内・学外諸機関・団体等による奨学金を別途受給している、あるいは受給することが予定されている場合は、本奨学金に申請する前に衣笠学びステーション（APU 国内交流プログラム担当）まで相談してください。本奨学金との併給ができない場合があります。
- ② 受給者が次の項目のいずれかに該当したときは、支給決定の全部または一部を取り消すことがあります。この場合において、既に支給した奨学金の全部または一部の返還を求めます。
 - ・ 留学プログラムへの参加を中止、または期間が変更されたとき。
 - ・ 出願書類等への虚偽の記載等の不正の事実が判明したとき。
 - ・ この奨学金の支給の要件を満たさなくなったとき。
- ③ 本プログラム（現地渡航）が催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合（オンライン留学への変更を含む）は、支給の有無、支給金額等が変更となります。予めご了承ください。その際は改めてご連絡します。

14. APUでの学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。

15. 辞退

許可発表後の辞退は認められません。

Ⅱ. 出願について

1. 出願資格

以下の①～⑤の条件を満たすこと。

- ① 法学部、産業社会学部、国際関係学部（国際連携学科を除く）、文学部、経済学部、理工学部（環境都市工学科 2018～2021 年度入学者を除く）、スポーツ健康科学部、生命科学部、薬学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部の所属学生であること。
- ② 国内交流派遣の開始時まで少なくとも1学年の学修を終了していること。
ただし、派遣時において卒業該当回生でないこと。
- ③ 修得単位数が、出願時点までに学修が終了している在学学期×16 単位以上であること。
- ④ 出願時点までに配当されている「卒業に必要な外国語科目」を全て修得していること（政策科学部は該当する外国語科目なしのため、本要件の対象外）。
- ⑤ 既に本プログラムに派遣されたことがある者は、出願できない。

【注意】

出願書類不備がある場合や、提出期限を過ぎている場合は一切受け付けません。また、留学中や休学中の場合でも出願可能ですが、面接などの必要な手続を行えることが条件です。

2. 出願期間

11月1日（水）9:00～11月9日（木）**11:00【厳守】**

3. 出願書類提出先

以下の URL にて申請を行って下さい。出願票へスクリーンショットなどを貼り付けた上で、一つの PDF ファイルとして提出を行って下さい。

＜申請ページ URL＞

<https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20231017140503941819932>

4. 提出書類

- ① APU 交流学生出願票
- ② 言語運用能力を示す書類（TOEFL、TOEIC、IELTS、CASEC スコア等）のスクリーンショット
※スコアを紛失した場合は、出願票の「学内受験テストスコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新のテストスコアが選考の際に使用されます。
- ③ CAMPUS WEB「履修状況確認」ページ内「履修状況一覧」「科目一覧」「GPA」画面のスクリーンショット
- ④ manaba+R「コース一覧」（時間割表）のスクリーンショット
- ⑤ 保護者・監督者等の同意書（要直筆サイン）
※保護者が遠方在住の場合、保護者同意の上で、直筆サイン部分をスクリーンショットで切り取って、同意書へ貼り付けてご提出ください。

5. 選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPA および面接によって選考します。面接の日程については、所属学部より本人宛に連絡します。

6. 許可者発表

発表日時：12月13日（水）13:00

許可発表：manaba+R(個人宛のお知らせ)にて発表

7. 派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。原則として欠席は認めません。

日時：12月19日（火）18:10～

実施方法：オンライン（Zoom）実施 ※URL等の詳細は、許可発表時に対象者に通知

8. 出願にあたっての注意

現在履修しているプログラムや、APU 派遣終了後の学部カリキュラムの履修については、事前に十分な計画が必要となります。応募前に、各学部事務室で APU 派遣を希望している期間の履修、派遣終了後の履修に関する不明点の確認をしてください。

【教職課程履修者】

APU 派遣中は、教職課程の科目を履修することができません。教職課程では、各回生で履修すべき科目が配置されていることから、派遣期間によっては、4年間で免許状取得に必要な単位が修得できない場合があります。出願する前に、必ず教職教育課および所属学部事務室に相談してください。

<問い合わせ先>

衣笠学びステーション（APU 国内交流プログラム担当）

衣笠キャンパス学而館 1F

Email : apu-tank@st.ritsumei.ac.jp

TEL : 075-465-7865